

昭和40年4月5日第三種郵便物認可
(旧「公衆衛生」)

2020年7月1日発行

第612号(通算)

発行:奇数月1日

会員購読料:1月10円(年間60円)
一般購読は別途送料

環境づくり・健康づくりのコミュニティ情報紙

環境と健康

発行者

一般財団法人 ~みんなの生命(いのち)をまもりたい~
広島県環境保健協会
佐藤 均
広島市中区広瀬北町9番1号
郵便番号 730-8631
電話 082-293-1511番
振替口座01380-2-27511
URL <http://www.kanhokyo.or.jp/>

令和2年7月1日からプラスチック製買物袋の有料化が義務となり、スーパー・コンビニをはじめとする小売事業者は、過剰な使用の抑制に努めることで、私たち消費者もマイバッグを持参するなど行動を変えていくことが求められます。



田中健康福祉局長(左)と佐藤理事長(右)が、広島県へ医療物資を寄贈することを記念して、5月18日(月)に広島県庁の健康福祉局を訪問し、県にマスクや防護服などの医療物資の寄贈を行いました。

当協会は「みんなの生命(いのち)をまもりたい」を基本理念に、県民の健康づくりと環境づくりを使命としています。

(総務課)

広島県へ医療物資を寄贈

医療従事者等への支援に向けて

5月18日(月)に広島県庁の健康福祉局を訪問し、県にマスクや防護服などの医療物資の寄贈を行いました。そのため、この度の湯崎知事の呼びかけに応え、微力ながら貢献したいと考え、マスクや防護服などの不足で困窮する医療機関や福祉施設の助になれば、広島県に医療資材を寄贈させていただきました。

レジ袋が有料化 ごみ減量へ2020年7月1日からスタート



近年、海に流れ出るプラスチックによる汚染が生態系に大きな影響を与えており、映像がマスコミ、インターネットを通じて大きな話題となっています。

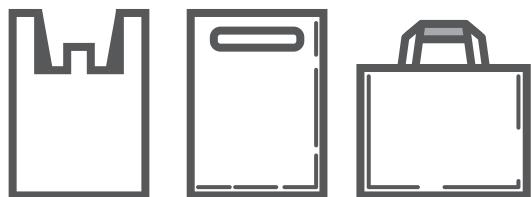
また、世界経済や環境問題など幅広いテーマについて討議するダボス会議の報告によると、世界の海に存在するプラスチックの量は、

2010年までに魚の量を超える(重量ベースとの試算も)深刻な問題となっていました。その中で、日本は人当たりの容器包装廃棄量が世界で2番目といわれ、アジア各国から輸出規制などの課題を突き付けられています。このような状況から、経済産業省などが呼び

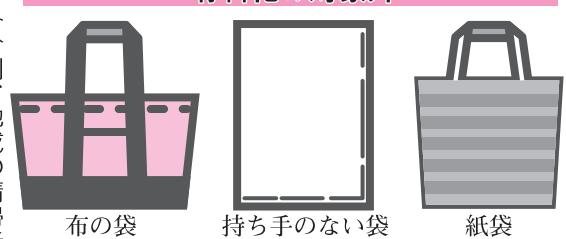
かけ7月1日から、プラスチック製の買物袋を対象に有料化がスタートします。すでに、4月から始めたスーパーにおいても、レジ袋が35円/枚となります。ただし紙袋、布の袋、持ち手のない袋は対象外となり、環境性能が認められるもの、繰り返し使えるもの、一定の基準を満たすバイオマス・生分解性のプラスチックは対象外になっています。

これに加えて「コンビニにおいても、レジ袋が35円/枚となります。ただし紙袋、布の袋、持ち手のない袋は対象外となり、環境性能が認められるもの、繰り返し使えるもの、一定の基準を満たすバイオマス・生分解性のプラスチックは対象外になっています。

有料化の対象(プラスチック製買物袋)



有料化の対象外



み分別、地域の清掃活動などを通じて、20年以上前から住民の方々にマイバッグの利用を呼び掛けていますが、今回の有料化によって、ご

これまで以上に住民への理解と協力を求めていきたいところです。一方で、この制度の導入に懸念を持つ人がいることも事実です。常にマイバッグを持ち歩いているため不意の買

問題は、「安全」レベルの確定が困難染拡大は、医療、経済、教育、福祉など私たちの生活に物質的・精神的な影響を与える。短期間での収束は難しく、新型コロナウイルスとの共生、ワクチンの新時代への移行が必要となる。今回、感染症対策や公衆衛生で大きな役割を果たしてきた水道と比較してみた。

そのため、この度の湯崎知事の呼びかけに応え、微力ながら貢献したいと考え、マスクや防護服などの不足で困窮する医療機関や福祉施設の助になれば、広島県に医療資材を寄贈させていただきました。

新型コロナウイルス感染防止のため、きれいに洗濯されたマイバッグを使ってほしいなど課題があります。これまで何気なくもらった買物袋を有料化することで、私たちの生活に本当に必要な物は何かを考えてもうきつかけにし、ライフスタイルの変革を促していきましょう。



「安全」と「安心」

そのためには、治療薬、

主に水を介して感染する水系消化器系感染症は減少し、現在では、ほぼゼロとなった。新型コロナウイルスの問題でも水道は、手洗い、うがいで意識することの少ない水道ではあるが、明確な水質基準により「安全」を確保し「安心」と思える市民の意識を構築してきた歴史がある

信している。

福山市立大学 堤行彦

そのため、この度の湯崎知事の呼びかけに応え、微力ながら貢献したいと考え、マスクや防護服などの不足で困窮する医療機関や福祉施設の助になれば、広島県に医療資材を寄贈させていただきました。

当協会は「みんなの生命(いのち)をまもりたい」を基本理念に、県民の健康づくりと環境づくりを使命としています。

そのためには、治療薬、主に水を介して感染する水系消化器系感染症は減少し、現在では、ほぼゼロとなった。新型コロナウイルスの問題でも水道は、手洗い、うがいで意識することの少ない水道ではあるが、明確な水質基準により「安全」を確保し「安心」と思える市民の意識を構築してきた歴史がある

信している。

当協会は「みんなの生命(いのち)をまもりたい」を基本理念に、県民の健康づくりと環境づくりを使命としています。

そのためには、治療薬、

主に水を介して感染する水系消化器系感染症は減少し、現在では、ほぼゼロとなった。新型コロナウイルスの問題でも水道は、手洗い、うがいで意識することの少ない水道ではあるが、明確な水質基準により「安全」を確保し「安心」と思える市民の意識を構築してきた歴史がある

信している。

当協会は「みんなの生命(いのち)をまもりたい」を基本理念に、県民の健康づくりと環境づくりを使命としています。